

3) 脱炭素社会・地域循環共生圏の構築に向けた施設の活用策

脱炭素社会の構築

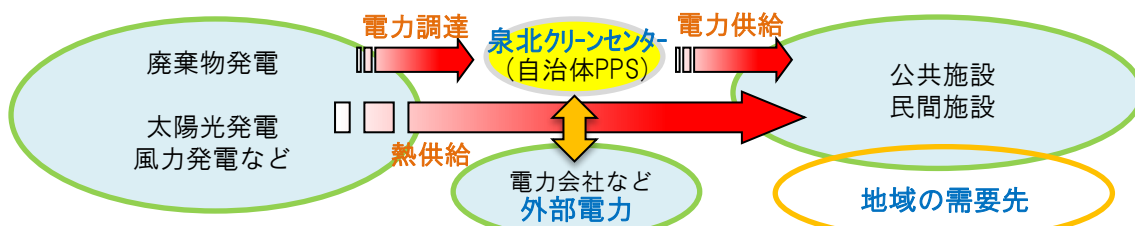
脱炭素社会の構築に向け、その象徴となる再生可能エネルギー設備を導入や施設の省エネ化、また、カーボンリサイクルなど、将来的な地域循環共生圏の構築に寄与する施設となる。

<取組の例>

- (1) バイオマス発電 (2) 施設の省エネ化 (3) 熱・電気の効率利用
- (4) カーボンリサイクル (5) 環境教育の場

地域新電力事業

地域のエネルギー産業に取組むことで、電力料金を安くすることだけでなく、地域のエネルギー産業を発展させ、より強靱な地域エネルギーシステムを実現します。



地域の防災拠点

大規模災害時においても、稼働を確保することにより、電力供給や熱供給等の役割を担い、災害復旧活動の基礎となる施設となる。

<求められる機能>

- (1) 強靱な廃棄物処理システムの具備
- (2) 災害時においても安定した地域でのエネルギー供給
- (3) 防災活動支援設備

地域の活性化

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、地域で住みよい環境を確保して、将来に渡り活力ある地域社会を維持していく支援となる。

<支援の例>

- (1) 民間施設、工場等への熱、電力供給
- (2) 地域企業や市民への電力供給
- (3) 温熱を利用した地域の活性化